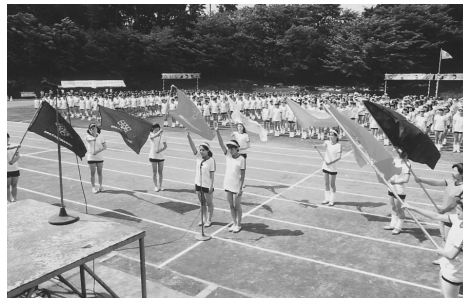
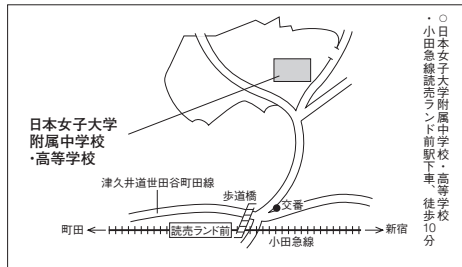




# 日本女子大学附属高等学校

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1 ☎044-952-6705 中学校長 野中 友規子 高等学校長 薄 由美



## カリキュラムの特色

中学校では、実技4教科を含めたすべてにおいて、「実物に触れる」という体験を重視しています。『自学自動』という理念を大切にしながら、単に知識を得ることに終わらず、自らの考えを発信・発表することまで生徒が意欲的に行うように工夫されています。

高等学校では、普通に学校生活を送っていれば日本女子大学へ推薦されることから、文系・理系に分けず、大学での勉学の基礎となる幅広い基礎学力の充実を図ります。数多くの実験・実習やその度に課すレポート、記述式の試験、卒業時の英文レポートなどを通じて論理的な思考力や表現力を養い、受験に縛られない勉強の面白さを味わえます。英語や情報は分割の少人数授業を行っています。2・3年次に12時間分の選択科目を履修し、自分の興味を高いレベルで追究できます。

## 環境・施設設備

小田急線読売ランド前駅から徒歩10分、京王相模原線京王稲田堤駅前の城下バス停からバスで10分（JR南武線稲田堤駅から城下バス停まで徒歩7分）、京王相模原線京王みゆうりランド駅からバスで15分と、便利な通学環境にあります。

緑に囲まれた東京ドーム6個分以上の広大な敷地の中に、西生田成瀬講堂、グラウンド、テニスコート6面、25m・6コースの温水プールが校舎に隣接しています。

校外施設として長野県軽井沢町に豊かな自然に

5教科 中3学期制 高2期制 登校時刻 8:50 昼食 弁当持参、食堂、自動販売機 土曜日 休日(行事、クラブ活動など)

囲まれた軽井沢三泉寮があります。軽井沢銀座から徒歩ですぐという好立地でありながら、寮の周辺は静かな環境で、中学校の夏季寮、高校の軽井沢セミナーなどに利用されています。

## 多様な学びの機会

教科の授業以外にも様々な学びの機会を提供しています。中学校では、事前授業を行うことで深い学びにつながる芸術鑑賞会、社会で活躍する卒業生から「働く」ということについて学ぶキャリア教室。高校では、土曜日や長期休暇に主体的に参加できる特別講座「知の泉」、ニュージランド語学研修などの国際理解教育、日本女子大学教員による講義や大学の単位先取りもできる高大接

続プログラムなど、多様です。

## 学校行事・クラブ活動

中学校では、軽井沢において夏季寮（1年次）、東北方面（2年次）、3年次には、テーマ別選択校外授業が実施されます。そのほか運動会、十月祭（文化祭）、スキー教室（希望者）なども行っています。高等学校では、運動会・もみじ祭（文化祭）・音楽会といった全校行事のほか、九州など4コースに分かれて行う地域研究（3年次）、軽井沢セミナー（2年次）、遠足（1・2年次）などが実施されています。

クラブ活動は中学・高校とも、文化部・運動部の別を問わず、熱心に活動しています。

## データファイル

### 2025年度入試日程

中学校		帰国はWeb入力後、書類郵送必着				
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日		
1回 約90	Web1/6~1/30 (3回は2/1・2/2もあり)	2/1	2/1	2/5		
2回 約30		2/1午後	2/1	2/5		
3回 約40		2/3	2/3	2/5		
帰国 若干	Web1/6~1/24	2/1	2/1	2/3		

高等学校		Web入力後、書類は郵送必着				
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日		
推薦 約65	1/17~1/19	1/22	1/22	1/28		
一般 約65	1/25~2/3	2/10	2/11	2/15		

帰国は一般と同日程で実施

### 2025年度選考方法・入試科目

中学校	
1・3回	国語、算数、理科、社会
2回	算数
帰国	国語、算数、面接
〈配点・時間〉1・3回：国・算＝各60点50分 理・社＝各40点30分 2回：算＝100点60分 帰国：国・算＝各50分（配点非公表）	
〈面接〉帰国のみ 生徒個人	

高等学校	
推薦	書類審査、面接、
一般（専願・オープン）・帰国	国語、数学、英語（リスニング含む）、面接
※推薦・専願については、生徒募集要項をご覧ください。	
〈配点・時間〉国・英＝各100点50分 数＝100点60分 〈面接〉生徒個人 推薦は重視、一般は参考	

### 2024年度春併設大学への進学

普通に高校生活を送っていれば進学できます。日本女子大学-279（家政96、文30、人間社会70、理17、国際文化33、建築デザイン33）

2024年度卒業生進路状況	
卒業生数	大学 短大 専門学校 海外大 就職 進学準備他
373人	362人 0人 0人 2人 0人 9人

2024年度入試結果	
中学校	
募集人員	志願者数 受験者数 合格者数 競争率
一般 1回 約110	231 199 126 1.6
2回 約40	282 118 53 2.2
帰国 若干	4 4 2 2.0

高等学校	
帰国生を含む	
募集人員	志願者数 受験者数 合格者数 競争率
推薦 約65	67 67 67 1.0
一般 約65	138 137 78 1.8

**学校説明会** 要予約

★中学校  
9/7  
授業見学説明会 10/15(保護者対象)  
入試問題解説会(6年生) 11/16

★高等学校  
11/9  
学校見学・相談会 9/14 10/12

**見学できる行事** 要予約  
文化祭 中学:10/5・10/6 高校:10/26・10/27  
運動会 中学 5/18(終了)  
親子天体観望会(中学) 12/7(抽選)

〈URL〉<https://www.jwu.ac.jp/hsc/>

**沿革** 1901年日本女子大学校および附属高等女学校開校。1947年附属高等女学校を母体として目白に附属中学校（新制）開校。1948年日本女子大学（新制）発足と同時に日本女子大学附属高等学校（新制）開校。1960年高等学校の目白校を西生田校に合併。1978年、中学校が目白より西生田に移転。1979年中学・高校の合同校舎が完成して移転を完了、現在に至ります。

## 校風・教育方針

創立者成瀬仁蔵は、女子を「人として」教育することを第一に掲げました。その心を受け継いで、まずなによりも豊かな人間性を涵養することが日本女子大学の教育方針です。その目標に向かって、創立者の提唱した教育理念である「信念徹底」、「自発創生」、「共同奉仕」の三綱領を具体的にどのように実現していくかが、全学園に共通したテーマとなっています。附属中学校・高等学校はこの理念を踏まえながら、人生で最も多感な、可能性にあふれた思春期の生徒たちを、自ら学ぶ姿勢をもった情操豊かな人間へと育てていきます。

中学校では、お互いを尊重しあい、自己や人間について考えさせる中から、他者への深い理解や思いやりの心を培うようにしています。さらには、それが社会的関心や問題意識に繋がるように、さまざまな工夫を授業や自治活動の中で行っています。

高等学校では、自治の精神を重視しています。自由な気風の下で学校生活や行事を企画・運営していく中から、多様な分野で活躍できる女性に成長していきます。

今年の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください